



## 平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月15日

上場会社名 サイバーステップ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3810 URL http://www.cyberstep.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 落合 重正 TEL 03-5355-2085  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	2,991	153.4	290	-	270	-	211	-
29年5月期第2四半期	1,180	65.8	22	-	△27	-	△50	-

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 205百万円 (-%) 29年5月期第2四半期 △37百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	37.19	33.03
29年5月期第2四半期	△10.55	-

(注1) 前連結会計年度より表示方法を変更したため、29年5月期第2四半期についても当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。詳細は、添付資料P.8「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」をご覧ください。

(注2) 経営全般にわたってより効率的な事業運営を図ることを目的として、第1四半期連結会計期間より、連結子会社1社の決算日を3月31日から5月31日に変更したことに伴い、平成30年5月期第2四半期には、当該子会社の平成29年4月1日から11月30日までの8か月間の業績を反映しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	2,614	1,963	70.8	310.36
29年5月期	1,717	1,282	69.8	246.55

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 1,850百万円 29年5月期 1,199百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年5月期	-	0.00	-	-	-
30年5月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	61.7	500	34.3	450	23.3	320	12.3	56.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）CyberStep Digital, Inc.、除外 1社 （社名）CyberStep Brasil, Ltda.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期2Q	5,961,201株	29年5月期	4,865,201株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	45株	29年5月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期2Q	5,680,330株	29年5月期2Q	4,764,757株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成30年1月24日（水）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国をはじめとする海外の政策動向の懸念や地政学リスクの発生などはあるものの、政府・日銀による経済政策などにより、緩やかな回復基調で推移しております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、引き続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルの増加から事業環境が大きく変化を遂げております。

このような事業環境のもと、当社グループは当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続き国際競争力のあるゲームの開発を続けるとともにクレーンゲームアプリ「トレバ」の安定的な成長と拡大に注力し増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,991百万円となり、前年同期に比べ、153.4%の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益290百万円(前年同期は営業利益22百万円)、経常利益270百万円(前年同期は経常損失27百万円)、税金等調整前四半期純利益271百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失44百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益211百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円)となりました。

なお、当期より、経営全般にわたって、より効果的な事業運営を図ることを目的として、連結子会社1社の決算日を3月31日から当社の連結決算日である5月31日に変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間には、当該連結子会社の平成29年4月1日から11月30日までの8か月間の業績を反映しております。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ896百万円増加し、2,614百万円となりました。これは主に、現金及び預金216百万円、売掛金82百万円、貯蔵品197百万円、流動資産その他135百万円、有形固定資産103百万円、無形固定資産121百万円の増加によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、651百万円となりました。これは主に、未払金163百万円及び未払費用40百万円の増加があったことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ680百万円増加し、1,963百万円となりました。これは主に、資本金が222百万円、資本剰余金が222百万円、利益剰余金が211百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し、1,167百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は89百万円増加(前年同期は51百万円の増加)しました。これは主に、たな卸資産の増加額218百万円、売上債権の増加額83百万円の減少があった一方で、税金等調整前四半期純利益271百万円、未払金の増加額163百万円の増加があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は146百万円減少(前年同期は179百万円の増加)しました。これは主に、定期預金の減少額150百万円の増加があった一方で、有形固定資産の取得による支出128百万円、無形固定資産の取得による支出136百万円の減少があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動により、資金は434百万円増加(前年同期は122百万円の減少)しました。これは主に、ストックオプションの行使による収入427百万円の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月14日に公表いたしました予想値を修正しております。詳細につきましては、平成30年1月12日公表の「業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	951,752	1,168,724
売掛金	225,556	308,547
商品	485	320
仕掛品	-	21,266
貯蔵品	100,326	298,113
未収還付法人税等	10,808	-
その他	88,627	224,270
貸倒引当金	△7,380	△9,123
流動資産合計	1,370,176	2,012,119
固定資産		
有形固定資産	109,822	213,200
無形固定資産	142,464	264,065
投資その他の資産	95,485	125,454
固定資産合計	347,772	602,720
資産合計	1,717,949	2,614,839
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,242	1,209
1年内返済予定の長期借入金	21,348	21,348
未払金	181,803	345,201
未払費用	84,307	124,383
未払法人税等	45,191	65,504
預り金	33,910	24,542
その他	35,529	45,437
流動負債合計	403,333	627,627
固定負債		
長期借入金	27,059	16,385
退職給付に係る負債	5,285	7,687
固定負債合計	32,344	24,072
負債合計	435,677	651,700
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018,662	1,241,133
資本剰余金	83,452	305,923
利益剰余金	81,626	292,869
自己株式	△28	△28
株主資本合計	1,183,712	1,839,897
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,790	10,191
その他の包括利益累計額合計	15,790	10,191
新株予約権	82,768	113,050
純資産合計	1,282,271	1,963,139
負債純資産合計	1,717,949	2,614,839

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,180,585	2,991,417
売上原価	301,867	383,039
売上総利益	878,717	2,608,378
販売費及び一般管理費	855,789	2,317,457
営業利益	22,927	290,921
営業外収益		
受取利息	67	233
その他	5,302	878
営業外収益合計	5,370	1,111
営業外費用		
支払利息	1,299	769
新株予約権発行費	-	5,417
外国源泉税	5,250	8,421
為替差損	22,540	3,646
貸倒引当金繰入額	25,128	1,561
その他	1,863	1,583
営業外費用合計	56,081	21,399
経常利益又は経常損失(△)	△27,783	270,633
特別利益		
新株予約権戻入益	1,247	2,152
特別利益合計	1,247	2,152
特別損失		
固定資産除却損	2,770	10
関係会社株式評価損	-	1,003
特別調査費用	15,300	-
特別損失合計	18,070	1,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,606	271,771
法人税、住民税及び事業税	5,650	60,527
法人税等合計	5,650	60,527
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,257	211,243
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,257	211,243

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,257	211,243
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,688	△5,598
その他の包括利益合計	12,688	△5,598
四半期包括利益	△37,569	205,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,569	205,645
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,606	271,771
減価償却費	17,643	58,767
株式報酬費用	9,914	25,370
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,128	1,689
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	2,228
受取利息	△67	△233
支払利息	1,299	769
新株予約権発行費	-	5,417
為替差損益(△は益)	14,585	8,270
固定資産除却損	2,770	10
関係会社株式評価損	-	1,003
新株予約権戻入益	△1,247	△2,152
売上債権の増減額(△は増加)	8,184	△83,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,558	△218,887
仕入債務の増減額(△は減少)	△139	△32
未払金の増減額(△は減少)	△18	163,824
前受金の増減額(△は減少)	△596	11,795
未払費用の増減額(△は減少)	13,243	39,967
その他の資産の増減額(△は増加)	△27,363	△149,358
その他の負債の増減額(△は減少)	49,789	△12,587
その他	4,962	1,521
小計	64,923	125,540
利息及び配当金の受取額	67	233
利息の支払額	△1,283	△769
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,464	△35,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,242	89,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	250,063	150,000
有形固定資産の取得による支出	△34,005	△128,864
無形固定資産の取得による支出	△35,229	△136,797
敷金及び保証金の差入による支出	△3,000	△32,682
敷金及び保証金の回収による収入	1,451	1,842
その他	598	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,877	△146,518
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	-
長期借入金の返済による支出	△22,354	△10,674
新株予約権の発行による収入	-	17,612
ストックオプションの行使による収入	-	427,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,354	434,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,602	△10,632
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104,164	366,963
現金及び現金同等物の期首残高	429,207	801,031
現金及び現金同等物の四半期末残高	533,371	1,167,995

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ222,470千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は1,241,133千円、資本剰余金は305,923千円となっております。

（追加情報）

（連結子会社の事業年度に関する事項の変更）

第1四半期連結会計期間より、連結子会社1社の決算日を3月31日から5月31日に変更しております。この変更は、すべての連結対象会社の決算日を統一することで、経営全般にわたって、より効率的な事業運営を図ることを目的としております。

当該変更に伴い、当該連結子会社は平成29年4月1日から平成29年11月30日までの8か月間を連結対象期間とする変則的な決算となっております。

なお、当該連結子会社における平成29年4月1日から平成29年5月31日までの損益については、四半期連結損益計算書を通して調整する方法を採用しており、同期間の売上高（個別財務諸表の合計額。以下同じ。）は1,622千円、営業損失は3,889千円、経常損失は4,166千円、税引前四半期純損失は4,166千円であります。

（表示方法の変更）

前第2四半期連結累計期間において、「法人税、住民税及び事業税」に含めておりました「外国源泉税」は、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2017年3月16日）の公表により取扱いが明確化された事により、前連結会計年度より「営業外費用」に表示することといたしました。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「法人税、住民税及び事業税」に表示していた10,901千円は、「法人税、住民税及び事業税」5,650千円、営業外費用の「外国源泉税」5,250千円として組み替えております。また、この変更により前第2四半期連結累計期間の経常損失は22,532千円から27,783千円に、税金等調整前四半期純損失は39,355千円から44,606千円となっております。

（セグメント情報等）

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。